



平成十六年度  
全建賞受賞!  
国道185号  
休山トンネル歩車道分離壁  
三年度連続  
吴国道

くれこく

平成十六年に広島国道事務所で行った、休山トンネル歩車道分離壁工事が、(社)全日本建設技術協会の「平成十六年度全建賞」を受賞しました。  
広島国道事務所(吴国道出張所)は、平成十四年度の「一般国道185号休山改良」、平成十五年度の「吴駅周辺のバリアフリー空間整備事業」に続き、今回で三回目の連続受賞となります。  
国道185号休山トンネルにおいて歩道と車道の分離壁の設置による環境の改善により、歩道利用者に高い満足度を得られたことが評価されました。

国土交通省  
広島国道事務所  
吴国道出張所  
吴市広本町  
1丁目5-33

TEL 0823-73-4798  
FAX 0823-73-9414

## 全建賞とは?

全建賞は、社団法人 全日本建設技術協会が、昭和28年度に設置しました。「建設技術の活用」、「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、優れた成果が得られた事業や施策を選考し、これを実施した機関を表彰するものです。



平成14年度「一般国道185号休山改良」  
平成15年度「吴駅周辺のバリアフリー空間整備事業」  
平成16年度「休山トンネル歩車道分離壁」  
の3つの賞状と盾。



呉市長 小笠原 臣也 様より

お祝いのメッセージをいただきました!



この度は「平成十六年度全建賞」受賞、おめでとうございます。  
この賞は、最新の建設技術を駆使するだけでなく、環境への配慮など、使う側の立場を重視した建設事業に与えられるものであり、道路事業では、全国から厳選された十六事業が受賞しています。  
さて、今回受賞された「休山トンネル歩車道分離壁」は昨年の夏に完成し、一般公募により選ばれた「休山悠路」という愛称で呉市民に親しまれています。  
分離壁ができるまでは、自動車の排気ガスがトンネル内に充満し、マスクをして通行する人が多く見られましたが、現在は大変快適な歩道空間となり利用者も倍増し、アンケートでは、ほとんどの方が「空気が良く、騒音がない」と高く評価しています。また、このような分離壁は全国的にもまだ珍しく、全国で三番目に建設され、距離で言えば現在のところ全国で一番長いものとなっています。  
このように、高度な技術の活用はもとより、「人に優しいみちづくり」という視点から、呉市住民の生活の役に立つさまざまな道路事業を行っていただいております。しかも、吴国道出張所管内で三年連続受賞という快挙を見ますと、貴所の日々のご熱心な取り組みが全国的にも評価されている証と言えます。  
これまでのご尽力とご功績に心より敬意を表するとともに、今後も呉市民のため、さまざまな事業の推進に励んでいただくようお願いいたします。

平成17年7月25日 小笠原 臣也

